

## 令和2年度 西蒲区社会福祉協議会 基本方針・重点目標

### 【基本方針】

我が国では、人口減少や少子高齢化が急速に進展するとともに、雇用形態、家族形態の変容や生活の多様化・価値観の変化により、単身世帯の増加、人間関係の希薄化など、急激な地域社会の変容によって、生きづらさを抱える方が増え将来に不安を抱く方が多くなるなど、様々な課題が顕在化しています。

西蒲区では、長期推計における人口は減少し続け、生産年齢人口の減少、老年人口割合の上昇が、新潟市の中でも特に顕著となり、地域コミュニティの縮小や、各地域の取り組み・組織など、深刻な人材不足や事業の縮小を迫られる状況に陥るなど地域力の衰退が懸念されます。

このような状況を踏まえ、西蒲区社会福祉協議会では、地域共生社会の実現に向け地域のあらゆる方々が住み慣れた地域で安心して豊かに暮らせる「お互い様の地域づくり」を推進するとともに、いつまでも元気で生きがいをもって地域で活躍してもらえるシニアを増やす取り組みを進めます。

また、生きづらさを抱えた方やそのご家族が安心して暮らせる支援を地域住民や福祉関係者ととともに、新たな取り組みを進めます。

### 【重点目標】 総合計画（基本目標 I 方針 2 ）

#### 1. 出会い・学び・協働を生み出す場づくり

団塊の世代を中心に、趣味や自ら進んで社会参加できる場を設け、各地域で地域福祉の担い手となるアクティブシニアの育成・発掘に取り組むを強化します。

また、地域に関心の薄い方やそのような方が多い地域に対して、関心を高める福祉教育を進めます。

##### ○男性シニア地域活動応援事業

定年退職したことで社会参加機会が減少している団塊の世代をはじめとするアクティブシニアの発掘・育成そしてセカンドステップとして、これまでの人生経験を活かした活動を地域で発揮していただくことを目的に開催します。

##### ○福祉教育推進事業

子どもたちの学びの支援と地域住民に対する生涯学習の視点で、地域に住まうあらゆる方々を対象に、多様性を認め合い「共に生きる力」を育めるよう人材育成を行います。

【重点目標】総合計画（基本目標 Ⅱ 方針 1 ）

## 2. 社会的援護が必要な人を支える仕組みづくり

「社会的ひきこもり」や「8050 問題」といった生きづらさを抱える方やその家族の問題に対し、他機関協働による課題解決のための新たな仕組みづくりを行います。

### ○コミュニティーソーシャルワーク推進事業

生活に困難さを抱える人や地域の中で孤立している人への相談支援から見えてくる多様で複合的な課題等に対し、確実に支援につなげるため、他機関協働による包括的支援体制の構築を行います。

### ○地域共生型あぐり事業

シニアの生きがいの場、認知症の方の通いの場や引きこもりの方の就労準備前の訓練の場等、あらゆる課題を解決する多機能型拠点を整備し、社会的課題解決に向けた新たな取組を行います。

### ○生きづらさを抱えた方の支援事業

急激な地域社会の変容によって生じている、生きづらさを抱える方を専門員とサポーター（住民）が一体となって支援しながら、生きづらさを解決する新たな社会資源を創設することを目指します。